

六本木アートナイト連動企画

Collection Unlimited by 4 Female Artists  
Saiko Otake / Shoko Otake / Meo Saito / Aya Morita

5月27日(土) - 6月24日(土)

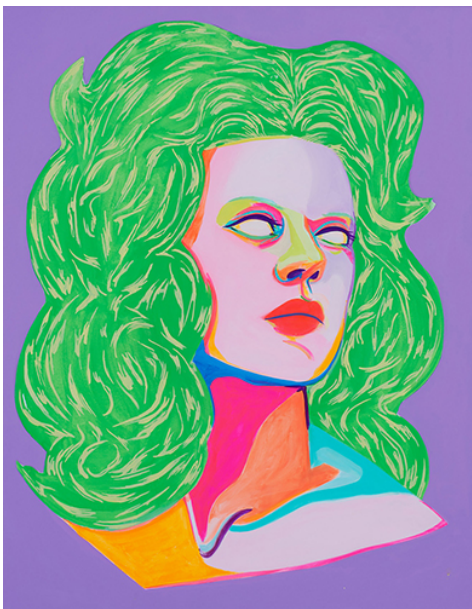
営業時間: 13:00-18:30 (最終入場) / 休廊日: 日曜・火曜

ギャラリー・アートアンリミテッドの女性アーティスト4人のグループ展を六本木アートナイトに合わせて開催します。現代に生きる4人の女性の個性溢れる絵画、版画、切り絵など多彩な表現をお楽しみください。トークやワークショップも開催します。

齋藤芽生トーク: 5月27日(土) 17:00-18:30 定員20名 (予約制)

盛田亜耶ワークショップ: 6月11日(日) 13:00-15:00 定員5名 (予約制)

詳細は当社サイト、Facebook、Instagramに掲載します。



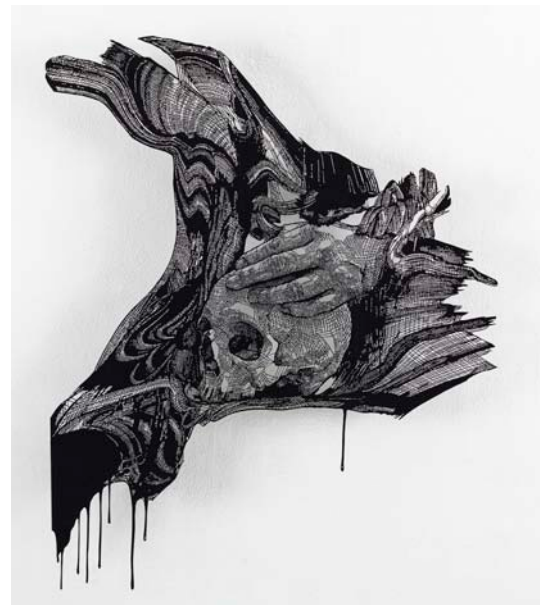
1



2



3



4

大竹 彩子「SPELLBOUND-MASK <LIGHT GREEN>」 2021年 F50 アクリル、カンヴァス

大竹 笙子「PRINTED ECHO #014」2022年 21.0×15.0cm 銅版画、紙

齋藤 芽生「蝉時雨を売る少女」（密愛村IVより）2016年 アクリルガッシュ、紙

盛田 亜耶「悔悛するマグダラのマリアの手」 2022年 56.2×45.0cm 切り絵、紙

<関連イベント>

■齋藤芽生トーク 日時：5月27日（土） 17:00-18:30

定員：20名（予約制） 料金：1,000円（ワンドリンクつき）

大学で教鞭をとっている画家、齋藤芽生さんによるレクチャー。

講義風に、作品の描き方や昨年初めて発表した映像作品についてなど語っていただきます。

■盛田亜耶ワークショップ 「盛田式切り絵体験」 日時：6月11日（日）13:00-15:00

定員：5名（予約制） 料金：2,000円（茶菓サービスつき）

切り絵のアーティスト盛田亜耶さんを講師に、盛田さん独自の切り絵の手法を体験していただきます。

作家の用意した原画から型を何種類か用意します。初心者の方も歓迎です。

---

大竹 彩子 | SAIKO OTAKE

1988年生まれ。2016年ロンドン芸術大学を卒業後、絵画、写真、壁画制作など東京を拠点に活動。さまざまな場所を訪れ撮影してきた写真で構成されたzineは2022年までで15冊となった。大胆な筆致とポップな色彩で描くペインティング、コラージュなど多彩な表現が人気のアーティスト。メディコム・トイ社のBE@RBRICKとのコラボレーションなど、ファッション・音楽・デザインなど様々なジャンルで活躍。主な個展に「VIVITONE」(NADiff a/p/a/r/t、2023年)、「WARP TRIP」(Akio Nagasawa Gallery Aoyama、2022年)、「RETINA PALETTE」(meets by NADiff、2021年)、「宇和島⇄東京」(ギャラリー・アートアンリミテッド、2021年)「GALAGALAGALA」(心齋橋 PARCO、2021年)、「GALAGALA」(PARCO MUSEUM、2020年)などがある。その他、主なグループ展は「渋谷アロープロジェクト」壁画制作、「2020年度ヤング・ポートフォリオ」展(清里フォトアートミュージアム、2021年)「BS Channel ~Black by Sister Channel」(パールブックショップ&ギャラリー、2021年)などがある。

---

□

大竹 笙子 | SHOKO OTAKE

1993年生まれ。2017年ロンドン芸術大学テキスタイル学科卒業。日常で目にした情景を、版画やドローイングなど様々な技法を用いて制作する。個展に「版響」(ギャラリー・アートアンリミテッド、2022年)、「Roll on Day Day」(SALT AND PEPPER、2022年)がある。主なグループ展は大竹彩子・大竹笙子「BS Channel ~Black by Sister channel~」(パールブックショップ&ギャラリー、2021年)、大竹彩子・大竹笙子「大竹か？姉妹今仕掛けた！OH！」(art space “traffic”、2021-2022年)、「PARCO PRINT CENTER -ART POSTER TRADE 2022- "Surround"」(渋谷 PARCO B1F GALLERY X BY PARCO、2022年)「WAVE 2022」(3331 Arts Chiyoda、2022年)など。その他、本の挿画やファッションブランド CURRENTAGE に作品を提供するなど、多方面から注目を集めている。作品集に『DUMBBELL KUMBBELL I, II, III』がある。姉の大竹彩子と「道後アート 2023」(2023年7月~)に出品予定など、益々注目を集めている。

---

□

□

齋藤 芽生 | MEO SAITO

1973年 東京都生まれ。東京在住。東京藝術大学教授。図鑑形式で博物誌のように世界を描き、不在の住人を団地の窓の風景で表現するなど、現実と幻想を交えた絵画と巧みな文章や言葉を組み合わせた表現により独自の世界を構築。主な展覧会に、「齋藤芽生とフローラの神殿」(目黒区美術館、2019年)。「大原美術館 秋の有隣荘特別公開 齋藤 芽生 密愛村」(大原美術館、2016年)、「アーティストファイル 2009—現代の作家たち」(国立新美術館、2009年)、「VOCA展 現代美術の新しい地平—新しい平面の作家たち」(上野の森美術館、2005・2010年)など。主な出版物に、作品集『徒花図鑑』、『四畳半みくじ』、絵本『吸血鬼のおはなし』、『カステラ、カステラ』など。昨年の個展「夜影記」(ギャラリー・アートアンリミテッド、2022年)で、初めての映像作品を発表、注目を集めた。

---

盛田 亜耶 | AYA MORITA

1987年、東京都生まれ。東京藝術大学大学院美術研究科油画専攻修了。名画の構図をもとに、現代人の身体を描き、身体と動植物が融合する世界を精緻な切り絵で制作。解剖学的な興味と美術史的なイコノロジーを元に、深遠な世界を描いている。主な受賞歴に第10回絹谷幸二賞奨励賞受賞(2018年)、アートオリンピア2017 入選・審査員特別賞受賞(2017年)。個展「オフィーリアのために」(ギャラリー・アートアンリミテッド、2021年)では紙のロールごと展示した大作を発表。浮遊するようなオフィーリアの身体と織り成す影も含めた空間が話題となった。現在、新作2点が「超絶技巧、未来へ！明治工芸とそのDNA」展で各地を巡回中。

---

<プレスの皆様へ>

画像の用意がごございます。展覧会情報をご紹介いただける際は下記までご連絡ください

ギャラリー・アートアンリミテッド / 担当：高砂・瀬野 [staff@artunlimited.co.jp](mailto:staff@artunlimited.co.jp)

〒107-0062 港区南青山 1-26-4 六本木ダイヤビル 3F tel:03-6805-5280 <http://www.artunlimited.co.jp>